



エコ・ファーストの約束

積水ハウスは2008年6月に環境大臣と「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」に関する三つの約束(エコ・ファーストの約束)を交わして「エコ・ファースト企業」認定を受け、その約束を果たすべく、環境取り組みを実践してきました。

2012年および2016年には、社会情勢の変化や取り組みの進捗を反映し、三つの約束の大きな枠組みを保持しながら「エコ・ファーストの約束」を更新し、取り組みを深化させています。なお、2020年には約束の内容を更新予定です。

「エコ・ファーストの約束」(2016年更新・抜粋)

※全文は右記 二次元バーコードからPDF ファイルを閲覧できます。



1. 家庭部門および事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

〈温暖化防止〉

約束項目

- 2030年までに国の目標(2013年比CO₂削減39.3%)に相当する「ストックまで含む家庭部門の1次エネルギー消費の27%以上削減」を目指します。
- グループ全体の事業活動からのCO₂排出量を一般社団法人 プレハブ建築協会が定めた目標値(2020年に2010年度比10%削減)を上回るよう、省エネエアコンやエコカー、LEDを積極的に導入します。

2019年度※1の主な進捗
戸建住宅事業でのZEH※2比率

87%

※1 2019年4月1日～2020年3月31日
※2 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



「グリーンファーストゼロ」の拡販

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

〈生態系保全〉

自然資本を持続的に利用して、豊かで心地よい暮らしを実現できる社会を目指します。

約束項目

- 地域に根差した在来種中心の植樹(「5本の樹」計画)を住宅の庭づくりやまちづくりを通して積極的に推進し、2020年には2001年の事業開始からの累積植栽本数1500万本を目指します。
- 違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立に配慮し、サプライヤーやNGOと協働して「フェアウッド」の導入を推進します。

2019年度の主な進捗

累積植栽本数

1611万本

2018年度に2020年目標達成
2019年度の年間植栽本数は109万本



「5本の樹」計画の推進

3. 資源循環の取り組みを積極的に推進します

〈資源循環〉

提案型リノベーションや、まち全体・コミュニティを含めた再生を推進し、社会資産の価値向上に努めます。

約束項目

- 資源循環センターを活用した新たな回収システムを整備し、グループ全体のゼロエミッションを加速します。
- 生産・施工・アフターメンテナンス時のゼロエミッション(埋め立てゼロ、熱回収を伴わない焼却ゼロ)を継続するとともにマテリアルリサイクル率90%を目指します。

2019年度の主な進捗
生産・施工・アフターメンテナンス時のマテリアルリサイクル率

83.1%



資源循環センターでの分別作業

TOPICS

環境教育の場「積水ハウス エコ・ファースト パーク」～公開4周年を記念したシンポジウムを開催～

「積水ハウス エコ・ファースト パーク」は当社の環境活動の歴史における象徴的な実証実験住宅3棟と、「5本の樹」計画の庭「生きものの庭」、施工現場で27分別した廃棄物を最大80分別してゼロエミッションを実現する「資源の泉」で構成された一般公開施設で、関東工場(茨城県古河市)の隣接地で運営しています。小学生から大学生まで「地球環境のために住まいにできることは何か」を考えていただける環境教育の場でもあります。

2019年11月、公開4周年を記念した環境シンポジウムを東京で開催しました(参加者230人)。基調講演にはWWFジャパンの小西雅子氏が登壇し、今や1.5℃目標が国際的には主流であると報告。また、エコ・ファースト企業3社(戸田建設株式会社、ライオン株式会社、当社)の環境・サステナブル責任者によるトークセッションでは、1.5℃目標は皆で力を合わせて取り組む必要があることが強調されました。

当該施設見学のお申し込みはこちら。



積水ハウス エコ・ファースト パーク(全景)



当社の環境の取り組みを紹介する常務執行役員の石田